

■教員情報

氏名／name	梶本 佳照／Kajimoto Yoshiteru	
職 位	教授	
所 属	健康保育学科	
学 位	修士(教育学)	
免許・資格	中学校一種免許状 理科 (昭和52中一普第370号) (鳥根県教育委員会) 高等学校一種免許状 理科 (昭和52高普第375号) (鳥根県教育委員会) 小学校二種免許状 (昭53小二普め第1624号) (京都府教育委員会) 中学校一種免許状 理科 (昭和52中一普第370号) (鳥根県教育委員会) 高等学校一種免許状 理科 (昭和52高普第375号) (鳥根県教育委員会) 小学校二種免許状 (昭53小二普め第1624号) (京都府教育委員会) 教育情報化 (ITCE) コーディネータ2級取得 (教育情報化コーディネータ認定委員会, 取得時: 一般財団法人日本教育工学振興会) 英国ThinkBuzan社認定: Instructor in Mind Mapping	
実務経歴	小中学校の教員としての実務経験を持つ ICT活用研修会の講師としての実務経験を持つ	
専 門	教育工学、生活科	
授業	大学	自然科学Ⅰ、基礎ゼミナール、ICTリテラシー、生活、教育方法・技術論、教職実践演習 (オムニバス)、卒業研究Ⅰ～Ⅳ、
	大学院	—
研究業績・研究テーマ	<p>【研究テーマ】 教育の情報化</p> <p>【研究業績】</p> <p>主要著書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野中陽一, 高橋純, 堀田龍也, <u>梶本佳照</u>, 他22名: 著作権および著作権教育に関する教員研修. 野中陽一(編), 教育の情報化と著作権教育. 三省堂, pp. 48～53, 2010. ・堀田龍也, 丸山岳志, 重政晶子, <u>梶本佳照</u>, 他43名: 保護者への啓発がなぜ必要か. 堀田達也, 西田光昭 (編), だれもが実践できるネットモラル・セキュリティ. 三省堂, pp.162～163, 2018. ・広島市立藤の木小学校, 藤の木小学科の実践から学ぶところ藤の木小学校 未来の学びへの挑戦Ⅱ「鍛えて発揮する」主体的・対話的で深い学びを実現する かく活動×ICT活用. 教育同人社, pp.14～18, 2018. ・堀田龍也, 高橋純, 八木澤史子, <u>梶本佳照</u>, 他11名: 情報社会を支える教師になるための教育の方法と技術. 堀田達也, 佐藤和紀(編), pp.216～227, 三省堂, 2019. <p>主要論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>梶本佳照</u>, 木原 俊行: 「教育の情報化」が進展している学校の特徴に関する考察, 日本教育工学会第28回全国大会発表論文, pp.761-762. ・<u>梶本佳照</u>, 高橋 純: 学校に対して保護者が求める情報. 第41回全日本教育工学研究協議会全国大会発表論文 (頁数記述なし) ・磯野 純一, 戸崎 聡, 村松 雅, <u>梶本佳照</u>, 高橋 純: 学校経営を支援するための不登生徒の欠席情報の傾向分析. 第42回全日本教育工学研究協議会全国大会発表論文 (頁数記述なし) 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・梶本 佳照：「情報モラル教育」は大学生の中にどのように位置づいているか-大学生への質問紙調査より，第43回全日本教育工学研究協議会全国大会発表論文（頁数記述なし） ・仲間 妙，佐藤 和紀，<u>梶本 佳照</u>，磯崎 ひろみ，高橋 純：小学校向け漢字ドリル指導法を教員志望学生が学ぶための講義パッケージの開発．日本教育工学論文誌，42，pp.125-128
研究キーワード	ICT、情報活用能力、生活科
地域活動	<ol style="list-style-type: none"> 1) 梶本佳照：豊かな言葉で主体的・対話的で深い学びに向かう子どもの育成．ICT活用公開研究会．広島市立藤の木小学校 2) 梶本佳照：効果的なICT活用．ICT活用研修会．福山市立日吉台小学校 3) 梶本佳照：授業へのタブレット活用．ICT活用研修会．多可町教育委員会 4) 日本教育工学協会(JAET)理事 5) 学校情報化認定委員会委員（日本教育工学協会） 6) ICT活用教育アドバイザー（文部科学省） 7) 「ネット社会の歩き方」情報モラルセミナー」検討委員会委員（一般財団法人日本教育情報振興会）
URL	